

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Cleaner MB
他の特定方法	
Article Number	1070088209
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
供給元	キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社
住所	港区港南2-13-29キヤノン港南ビル
市	東京都
国	日本
電話番号	03-6719-9700
メールアドレス	sds-hq@cpp.canon
緊急連絡電話番号	
NCEC Service	0120 015 230 For chemical emergencies only.
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	洗浄剤
使用上の制限	その他の用途は推奨されていません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分4
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分3

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	可燃性液体。飲み込むと有害。水生生物に有害。

注意書き

安全対策	熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。炎および加熱面から離しておくこと。-禁煙。この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。取扱い後はよく洗うこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	火災の場合: 適切な消化剤を使用して消火すること。
保管	なし。
廃棄	なし。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性	知見なし。
---------------------------------	-------

その他の情報

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
非常事態の概要	熱, 火花または炎で発火する可能性がある。飲み込むと有害。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質			
		官報公示整理番号		
化学名又は一般名	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
安息香酸メチル	93-58-3	(3)-1356	(3)-1356	75 - 100
化学式	C8-H8-O2 (93-58-3)			

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者を保温する。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO ₂)。
使ってはならない消火剤	火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。
火災時の特有の危険有害性	この製品は可燃性であり、加熱によって蒸気と空気との爆発性混合物を生成することがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	火災や爆発の場合、煙を吸入してはならない。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	可燃性液体。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。全ての着火源 (近くにあるタバコ、炎、火花、火) を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源 (近くにあるタバコ、炎、火花、火) を除去する。可燃性物質 (木材、紙、油など) を流出物から遠ざける。製品を排水施設に流してはならない。 大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質に製品を吸収させて容器に回収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出： 土、砂またはその他の不燃性物質に吸収させて、容器に移し、後で処分する。吸収材 (例：布、フリース) で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）	製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。火花の出ない工具や防爆器具を使う。適切な換気を行う。
安全取扱い注意事項 安全取扱注意事項	裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当たらないようにする。静電気の放電防止策を施す。味を見たり飲み込んだりしてはならない。使用中は飲食や喫煙をしない。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。
接触回避	強酸化剤。詳細については、本SDSの項目10を参照。
衛生対策	取扱中は禁煙。飲食物から遠ざける。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件	熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。スプリンクラーのある場所に置く。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	標準監視手順に従ってください。
暴露限界値	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	適切な換気を行う。プリンタのオペレータマニュアルまたは安全データシートをご覧ください。
保護具	
呼吸用保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。この商品の通常の用途には必要ありません。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
眼、顔面の保護具	接触の可能性がある場合、サイドシールドのついた安全メガネが望ましい。
皮膚及び身体の保護具	この商品の通常の用途には必要ありません。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体。
形状	液体。
色	無色。
臭い	果物のような。
融点／凝固点	-12.3 °C (9.86 °F)
沸点又は初留点及び沸点範囲	199 °C (390.2 °F)
可燃性	該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発限界－下限(%)	8.3 %
爆発限界－上限(%)	20 %
引火点	77.0 - 83.0 °C (170.6 - 181.4 °F)
自然発火点	518 °C (964.4 °F)
分解温度	データなし。
pH	データなし。
動粘性率	1.79 mm ² /秒 推定値
溶解度	
溶解度（水）	2100 mg/l
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	2.12

蒸気圧	0.3 ミリバール (20 °C (68 °F)) 0.5 ミリバール 2.8 ミリバール
密度及び/又は相対密度	
密度	1.08 g/cm ³ 25°Cで
比重	データなし。
相対ガス密度	4.69
粒子特性	データなし。
その他の情報	
絶対粘度	1.94 mPa·s (23 °C (73.4 °F))
爆発性状	爆発物でない。
分子式	C8-H8-O2
分子量	136.1 g/mol
酸化能力	酸化性でない。
比重	1.08
粘度 (粘性率)	1.94 mPa·s (20 °C (68 °F))
揮発性有機化合物	100 % 2010/75/EU

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。引火点を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性 飲み込むと有害。

製品	種	試験結果
安息香酸メチル		
急性 経口		
LD50	ラット	2000 mg/kg
急性 経皮		
LD50	ウサギ	> 2000 mg/kg, 14 日間
皮膚腐食性/刺激性	健康障害は知られていないか、通常の使用では予想されない。	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	健康障害は知られていないか、通常の使用では予想されない。	
目に入った場合		
OECD405		
結果: 陰性。		
眼		
OECD405		
結果: 陰性。		
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。	

皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。
感作性	
LLNA(OECD 429)	
結果: 陰性。	
生殖細胞変異毒性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。
生殖細胞変異原性:小核	
OECD 487	
結果: 陰性。	
発がん性	データなし。
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない。
誤えん有害性	吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報

環境影響データ

製品	種	試験結果
安息香酸メチル		
水生		
急性		
魚類	LC50 魚類	23 mg/l, 96 時間
生態毒性	水生生物に有害。	
残留性・分解性	この物質の分解性に関して利用可能なデータはない。 <ﾀﾞ>	
生態蓄積性	<ﾀﾞ>	
生体内蓄積の可能性		
オクタノール/水分配係数 log Kow		
2.12		
土壤中の移動性	データなし	
オゾン層への有害性	データなし	
他の有害影響	この製品は光化学オゾンを生成する可能性のある揮発性の有機化合物を含有している。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及 未確定。

びIBC コードによるばら積み輸送
される液体物質

国内規制 国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

この安全データシート情報は、現在の知見ならびに現行の法規に基づくものであり、かつ、正確であると考えられています。この情報は製品の健康、安全、環境側面に関する指針を提供し、また特異性、技術的性能、あるいは特殊用途のための適合性に対する保証として解釈されることはありません。本製品は、セクション 1 に記載されている以外の目的に使用しないでください。本書はセクション 1 の法域の要求により整えられたものであり、他の国や地域における規制上の要件にあうものとは限りません。本安全データシートに記載されている情報は、安全衛生の適用される法規により要求されているように、使用者自身の職場のリスク評価に代わるものではありません。